

## 今週の主な News

1. 全国まちづくり会議 2023in 東京ちよだ、プログラム確定
2. 地域デザイン研究会・第3回地域探訪  
～向島:新しい下町コミュニティ創造～
3. 第15回日本都市計画家協会賞

### ■全国まちづくり会議 2023 in 東京ちよだ、プログラム確定

・全国まちづくり会議 2023 in 東京ちよだのプログラムが確定しました。

開催テーマ:「これからのまちづくりの担い手」

日時:2023年10月7日(土)13:00～20:00

10月8日(日)10:00～18:30

場所:明治大学駿河台キャンパス リバティタワー

参加費:無料

詳細・申込:

<https://sites.google.com/view/zenmachi2023>

主催:認定NPO法人 日本都市計画家協会(JSURP)

・オープニングセッション

タイトル:「まちづくりの哲学」

登壇者: 宮台真司(社会学者、東京都立大学教授)

蓑原敬(都市プランナー、蓑原計画事務所)

プログラム:

<タイムテーブル>

### ■地域デザイン研究会・第3回地域探訪 ～向島:新しい下町コミュニティ創造～

地域デザイン研究会では、地域の個性や資産を活かしたまちづくりの発掘と活用支援を目的に活動を進めています。今年度は個性あるまちづくりを展開している地域の方にご案内いただきながら、その地域のまちづくりについてともに議論する「地域探訪」を行っています。第3回は下町文化を継承し、新しい下町コミュニティづくりを進める八島花文化財団の後藤大輝さんに墨田区京島地区を案内してもらいます。ぜひご参加ください。

【開催概要】

日時:2023年9月17日(日)13:30～16:30

会場/開催方法:東京都墨田区京島2丁目3丁目

参加費:2,000円

【プログラム】

13:30 京成曳舟駅集合

まち歩き(京島エリア)

15:30 後藤大輝さんのお話&意見交換(京島エリア内)

17:00 懇親会(希望者のみ)

【主催/協力】

主催:日本都市計画家協会地域デザイン研究会

協力:八島花文化財団

【申込み、問合せ】

認定NPO法人 日本都市計画家協会(JSURP)

Email: [jimukyoku@jsurp.jp](mailto:jimukyoku@jsurp.jp)

10/7(土)	1071	1073 (地域)	1074 (全国)	1075 (逃げ地図)	1076 (パネル&車座)	1083 (イベント)	1084 (交流)	会場外
②13:00～ 15:00						オープニング セッション (8階1083)		
③15:30～ 17:30		8.地域デザイン フォーラム 地域 資源を巡る旅	1.これからのプ ランナー像と職 能	10.-① 多様な災 害からの「逃げ 地図」展	10.-③ 「これか らの逃げ地図」 アイデアワーク ショップ	15.街の賑わい 生んでみた～場 づくりから賑わい 21.MU STREET PARK	16.日本都市計 画家協会員受賞 団体プレゼン テーション	6.まちビト・ トーク#13 「ス ケボー文化がつ くる楽しいを共 有する場」
④18:00～ 20:00	第15回日本都市計画家協会賞授賞式&懇親会 (23階ホール)							

10/8(日)	1071	1073 (地域)	1074 (全国)	1075 (逃げ地図)	1076 (パネル&車座)	1083 (イベント)	1084 (交流)	会場外
①10:00～ 12:00		3.本郷のキオク を語り聞かす会 2023	9.農的活動の新 展開と市民緑農 地の可能性		10.-② 「逃げ地 図」づくり体験 ワークショップ			エクス カー ション (まち 歩き)
②13:00～ 15:00	17.工場街の歩 き～ものまち 研10数年の歩み	12.開発圧力の 猛威に抗する歴 史文化まちづく り	14.これからの まちづくり研究 会総括セッション	10.-① 多様な 災害からの「逃 げ地図」展	10.-② 「逃げ地 図」づくり体験 ワークショップ	7.三陸セッション 復興事業をリ ノベする 15.街の賑わい 生んでみた～場 づくりから賑わい 21.MU STREET PARK	5.これからのス ポーツ施設と災 害対応の担い手	18.女性とまち づくり研究会 オ フ会! 4.街×はたらく ×オフィス in神 保町 21.M U STREE T PARK
③15:30～ 17:30	19.住み続けら れるまちづくりに 銭湯は必要か?	2.本の街・神 保町のまちづく り協議の進め方	13.空家活用による 居住支援型 コミュニティ形 成				20.これからの 「逃げ地図」づ くりの担い手	11.日中韓交流 若手セッション: リターンズ
④18:00～ 18:30						クロージング セッション		

## ■第15回日本都市計画家協会賞

- ・4月3日から6月30日まで公募していた協会賞には、全国から12団体の応募をいただき、JSURP 会員により、事前訪問審査(WEBあり)を行いました
- ・応募は締め切り1週間前ではゼロで、締め切り日直前に集中して、事務局は冷や汗をかきました。
- ・7月22日に、5名の会員(阿部俊彦立命館大准教授、小泉秀樹東京大学教授、佐谷和江計画技術研究所代表、鈴木俊治芝浦工大教授、三谷繭子 GrooveDesigns 代表)による審査委員会を行い、以下の支部賞、優秀まちづくり賞を選定しました。
- ・審査は当初、審査点数で全体を概観しました。持ち点55点で5人+事前審査の330点満点で、270点を超える団体が6団体ありました。
- ・なお、北海道支部賞、静岡支部賞は各支部長の推薦のとおりに決定しました。支部賞該当なしは、優秀まちづくり賞の枠を3から増やすこととし、優秀まちづくり賞は6団体が選定されました。さらに、選外にはおいしいということで、まちづくり業績賞、まちづくり奨励賞が各1団体、追加選定されました。



- ・各支部賞及び優秀まちづくり賞受賞計8団体の皆さまには、10月7日(土)に開催する「全国まちづくり会議 2023 in 東京ちよだ」でプレゼンテーションを行っていただき、その中から日本まちづくり大賞を最終選考させていただき運びとなっております。プレゼンが楽しみです。(文責:江田隆三)

賞	団体名	まちづくり活動の名称等	住所	選定理由
北海道支部賞	一般社団法人 NORTH ReDESIGN	空き施設を有効に活用した地域再生と地域の意識の変化へ	北海道幕別町	地域では空き施設の増加と空洞化が進行。相談環境を整え、空き施設利用についてリノベーションを示した。地域活性化の法人を設立し、地域の再生に取り組む。
静岡支部賞	地元の建築家と朝日小学校の子供たち	小学生による『逃げ地図づくり』と津波防災まちづくり	静岡県下田市	津波が予測されている下田市朝日小学校で逃げ地図づくりWSを8年間。学んだことを子どもたちが発表し、家族・地域に防災意識が広がる。草の根の活動として評価する。
優秀まちづくり賞	まちづくり鹿嶋株式会社	みんな違って、それがいい。	茨城県鹿嶋市	中心市街地の空洞化に対し、2018年に設立。イベント・住宅整備・空き店舗再生・旅行造成など行政の補助金に頼らない、新しい観光まちづくりを進めている。
	株式会社テダソチマ	みちしるべを元に進める『まちそだて』	福島県須賀川市	東日本大震災からの復興をめざし、2019年に都市再生推進法人に指定され、空き家バンク、居心地が良くなるまちなか事業に取り組んでいるまちづくり会社。
	一般社団法人 気仙沼風待ち復興検討会	歴史的建造物復原による気仙沼の復興まちづくり	宮城県気仙沼市	被災した内湾地区の歴史的建造物群について、生業と共に文化財建物を再建。2012年から法人化し、2020年までに8棟の歴史的建造物が登録文化財として復原。
	株式会社イツノマ	過疎地の未来は自分で創る、こども参画まちづくり	宮城県児湯郡都農町	人口1万人の町の中学校の総合的学習で「つの未来学」を開講。中学生の提案をきっかけに、町がゼロカーボンタウン宣言。商店街を元気にする「みちくさ市」を毎月開催。
	株式会社ナゴノダナバンク	空き家・空き店舗活用による那古野エリア(円頓寺商店街とその界隈)の活性化	愛知県名古屋市区	衰退した名古屋市内円頓寺商店街界隈において、「空き家・空き店舗の対策」「祭りの創出」「街並みの保存」などに、地域の人(ウチの人)と余所者(ソトの人)とが協働して解決する。
	認定特定非営利活動法人茨城NPOセンター コモンズ	水害で被災した街で、空き家を生かし多世代多文化交流できる場をつくる	茨城県常総市	常総市は日系ブラジル人が多く、子どもたちの学習支援をしてきた。2015年の鬼怒川洪水の空き家で、7棟の改修。カフェ、多文化保育園、シェアハウス等多文化共同の住まいや就労の場を実現。空き家利用とダイバーシティの取組。
まちづくり業績賞	一般社団法人草薙カルテッド	誰もがいきいきと活躍できるまち草薙のまちづくり	静岡県清水区	草薙駅周辺の再開発を契機に2018年に都市再生推進法人の指定を受け、駅前広場、草薙ブランドの魅力アップを推進。「人財」の居場所を地域に作り、様々な魅力的な事業が生まれ続けている。
まちづくり奨励賞	下北沢リンク・パーク	まちをつなげる・ひとをつなげる下北沢リンク・パーク	東京都世田谷区	下北沢駅周辺に点在する道路事業用地を有効活用するための活動。柵で囲われた場所を公共に開き主体的に関われる仕組みづくりを目指す。活動や場所を介してつながりあう、下北沢の多様なネットワークを構築。